

公園緑地工事写真管理基準

横浜市みどり環境局

令和6年4月

目次

1 総則

- (1) 適用
- (2) 工事（記録）写真撮影計画
- (3) 工事写真の分類
 - ア 着工前及び完成写真（全景）
 - イ 着工前及び完成写真（工事目的物ごと）
 - ウ 施工状況写真
 - エ 出来形管理写真
 - オ 材料検査写真
 - カ 品質管理写真
 - キ 安全管理写真
 - ク その他の写真

2 撮影上の注意

- (1) 着工前及び完成写真（全景）
- (2) 着工前及び完成写真（工事目的物ごと）
- (3) 出来形管理写真
- (4) 施工状況写真
 - ア 指定工法について
 - イ 仮設物について
 - ウ 撮影時期について
- (5) 黒板の撮影
- (6) 撮影方法
- (7) 部分撮影
- (8) 撮影時の照明
- (9) 緊急報告の写真
- (10) その他

3 写真撮影箇所と撮影項目

- (1) 工事目的物について
- (2) 各種工事写真の撮影箇所と撮影項目について
 - ア 着工前及び完成写真（工事目的物ごと）
 - イ 出来形管理写真
 - ウ 施工状況写真
 - エ 着工前及び完成写真（工事目的物ごと）、出来形管理写真、施工状況写真の撮影箇所と撮影項目の決定例
 - オ 材料検査写真、品質管理写真、安全管理写真、その他写真について
- (3) 出来形管理写真・施工状況写真撮影箇所一覧
- (4) 材料検査写真・品質管理写真・安全管理写真・その他写真の撮影箇所一覧表
 - ア 材料検査写真
 - イ 品質管理写真
 - ウ 安全管理写真
 - エ その他写真

4 電子納品の場合

- (1) フォルダ構成
- (2) 写真管理項目
- (3) ファイル形式、ファイル命名規則、写真編集等、有効画素数
- (4) 撮影頻度と提出頻度の取り扱い

5 写真帳納品の場合

- (1) 写真の色彩
- (2) 写真の大きさ
- (3) 写真帳の大きさ
- (4) アルバムの表紙
- (5) 写真の整理方法
- (6) 写真の整理保管
- (7) 写真の説明
- (8) 写真帳の提出部数
- (9) 添付の順序

1 総則

請負人は適切な施工を証明するため必要な写真管理を行うが、そのうち公園緑地工事の工事しゅん工図書として提出するものについて次のとおり定める。

(1) 適用

この基準は、横浜市が発注する公園緑地工事に適用する。

ただし、移管を予定している道路などはこの基準を適用せず工事写真撮影基準（横浜市道路局）などによる。

この基準に定めのないもの、又は工事の種類、規模、施工条件等によりこの基準によりがたい場合は、監督員と協議のうえ提出すること。

(2) 工事（記録）写真撮影計画

工事写真の撮影に先立ち監督員と協議し、施工計画書において工事（記録）写真撮影計画（撮影箇所・内容など）を定めること。

(3) 工事写真の分類

工事写真は、次のように分類する。

工事写真	——	着工前及び完成写真(全景)
	——	着工前及び完成写真(工事目的物ごと)
	——	施工状況写真
	——	出来形管理写真
	——	材料検査写真
	——	品質管理写真
	——	安全管理写真
	——	その他の写真(補償、災害等)

ア 着工前及び完成写真（全景）

工事現場全体の着工前と完成後の状況把握のため撮影する。

イ 着工前及び完成写真（工事目的物ごと）

工事目的物の築造を確認するために撮影する。

ウ 施工状況写真

目的物の築造に必要な作業が適切に実施されていることを証明するために作業の施工状況を撮影する。

エ 出来形管理写真

目的物の出来形が図面と適合していることを証明するために、その検測状況・結果を撮影する。

オ 材料検査写真

設計図書に監督員の検査をうけて使用すべきものと指定された工事材料検査の実施状況及び確認された形状寸法等を撮影する。

カ 品質管理写真

施工管理のために行った試験または測定状況及び測定値を撮影する。

キ 安全管理写真

安全管理状況の確認のために撮影する。

具体的には、各種標識類、保安施設、保安要員等交通整理状況、安全教育状況写真を撮影する。

ク その他の写真

環境対策（現場環境改善含む）関係、補償関係、災害関係等について撮影する。

2 撮影上の注意

(1) 着工前及び完成写真（全景）

工事現場全体の工事着工前と工事完成後の写真とする。同一位置、方向から対比できるように撮影すること。

災害復旧工事等は全景を原則とする。

撮影区間の長いものについては、つなぎ写真又は追い写真とし、起終点及び中間点（数点）にポール等を立て、位置（測点）の表示をすること。

(2) 着工前及び完成写真（工事目的物ごと）

着工前と完成後の写真は、目的物がわかる全景又は代表部分写真とし、同一位置、方向から対比できるように撮影すること。

(3) 出来形管理写真

構造物等の形状寸法の確認については、リボンテープ等を目的物に添え、寸法が正確に確認できる方法で撮影すること。

この場合、位置が確認できるように、丁張又は背景を入れ、黑板には目的物の形状寸法及び位置（測点）を記入すること。

(4) 施工状況写真

ア 指定工法について

施工方法、施工機械を指定している作業を撮影する場合は、使用した機械がわかるように撮影すること。

イ 仮設物について

矢板・鉄板及び杭等の施工状況を撮影する場合は、番号及び寸法を表示し各段階の施工状況が判別できるようにすること。

ウ 撮影時期について

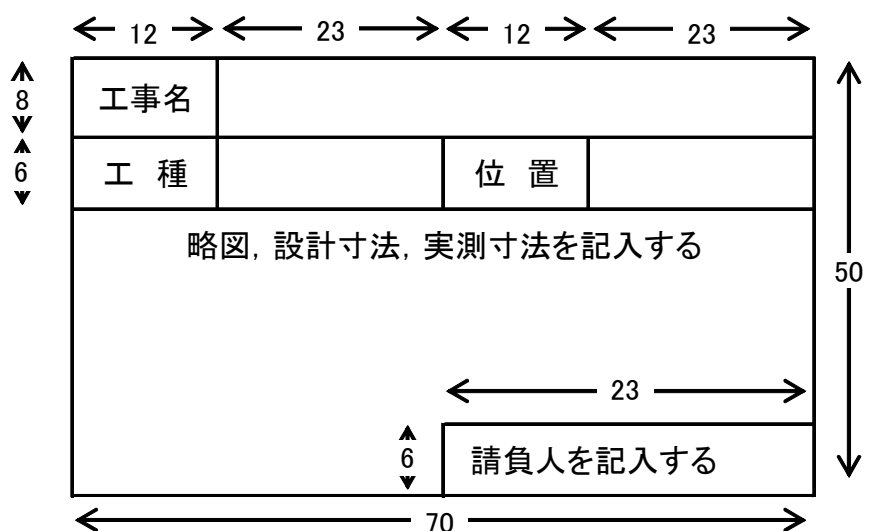
施工過程における構造物や撤去・処分等については、撮影時期を失しないようにすること。

工事施工後、明視できなくなる箇所（地下埋設部分、下地部分や仮設など）については、特に留意して撮影すること。

(5) 黑板の撮影

原則として次の項目を記載した黑板等を被写体と共に写し込むこと。

- ア 工事名
- イ 工種
- ウ 位置（測点）
- エ 設計寸法
- オ 実測寸法
- カ 略図（形状）
- キ 請負人



※単位: cm

(6) 撮影方法

撮影は一定の方向から行うこと。

特に同一箇所を施工の各段階で撮影する必要がある場合は、位置が確認できるように同一背景を画面に入れること。

また、寸法確認等の写真は、なるべく被写体の中心で、しかも直角の位置から撮影すること。

(7) 部分撮影

ある箇所の一部を詳細又は拡大して撮影する必要がある場合には、その箇所の全景を撮影したのち、必要な部分の位置が確認できるように撮影すること。

(8) 撮影時の照明

夜間工事及び基礎工事の撮影については、特に照明に注意し鮮明な映像が得られるようにすること。

なお、フラッシュ撮影をする場合は、反射光及び現場内の逆光を受けない角度で撮影すること。

(9) 緊急報告の写真

事故等で緊急にその状況を報告する必要がある場合は、デジタル写真を原則とする。

(10) その他

特に重要な作業等で監督員が立ち合う場合はその状況を撮影すること。

3 写真撮影箇所と撮影項目

本基準では各種工事写真の写真撮影箇所と撮影項目を、工事目的物ごとに定めている。

(1) 工事目的物について

工事目的物とは工事施工の目的となるもので、工事完成後に具体的な形で残る設備、構造物等の総称であり、機能・目的を果たす上で必要な構成を一単位とする。造成工事の場合は、改変後の地形が工事目的物となる。

工事目的物の分類は「公園緑地工事工種体系（ツリー図）」に基づいて行う。工事目的物は「名称」と「規格」の組合せにより表記され、「名称」と「規格」は「公園緑地工事工種体系（ツリー図）」における階層の中で、それぞれレベル4とレベル5に位置づけられる。

工事目的物	
縦格子柵工 / TF-90S	
名称	規格
レベル4	レベル5

(2) 各種工事写真の撮影箇所と撮影項目について

各種工事写真の撮影箇所と撮影項目について、工事目的物ごとに次のとおり定める。

また、1件の工事発注において複数現場の工事がある場合は、各工事現場ごとにこの基準を適用すること。

ア 着工前及び完成写真（工事目的物ごと）

すべての「工事目的物」の「規格」（ツリー図レベル5）ごとに最低1箇所提出する。

ただし、出来形管理写真を複数の撮影箇所について提出する場合は、それぞれの撮影箇所について着工前及び完成写真（工事目的物ごと）を提出する。

イ 出来形管理写真

(7) 撮影箇所

「工事目的物」の「規格」（ツリー図レベル5）ごとに、出来形管理の測定箇所の中から撮影箇所を選定する。

箇所数は、「(3)出来形管理写真・施工状況写真撮影箇所一覧」に示す「撮影頻度」に基づき、施工数量に応じて算出する。（施工数量が撮影頻度に満たない場合は1箇所とする。）

(4) 撮影項目

「(3)出来形管理写真・施工状況写真撮影箇所一覧」に示す「撮影項目」について、施工段階（注1）ごとの出来形管理の状況・検測結果の写真を提出する。

「撮影項目」の詳細については「公園緑地工事施工管理基準」の出来形管理基準を参照すること。

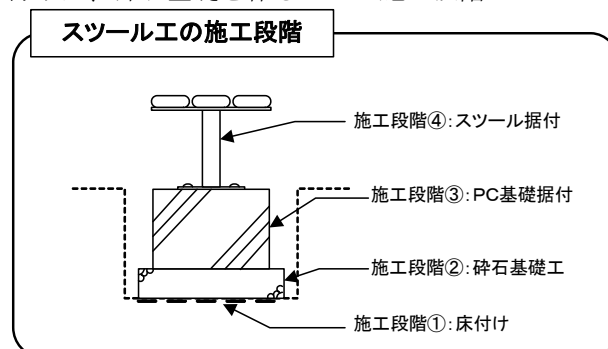
注1：施工段階について

工事目的物は図面にに基づき、段階的な施工により築造される。その各段階を「施工段階」とする。

例) 工事目的物：スツール / ST-A

施工段階：床付け、碎石基礎工、PC基礎据付、スツール据付

（床付けは、碎石基礎を作る上での施工段階の一つとして見なす。）



(ウ) その他

「(3)出来形管理写真・施工状況写真撮影箇所一覧」において「出来形」について定めのない場合は、監督員の指示がない限り出来形管理写真の提出を求めない。

ウ 施工状況写真

(7) 撮影箇所

撮影箇所は、「(3)出来形管理写真・施工状況写真撮影箇所一覧」に示す「撮影頻度」(注2)に基づいて決める。

撮影箇所の決定にあたり次のことに留意すること。

・「撮影頻度」が「全ての規格のうち代表的な1箇所」の場合、作業手順の多い「規格」の工事目的物を対象に撮影する。

(例：縦格子柵工で「布基礎」と「PC基礎」の2規格を施工する場合は、基礎築造にかかる作業の多い「布基礎」の縦格子柵工を対象に撮影する。)

・施工状況写真の撮影箇所は出来形管理写真の撮影箇所の中から選定する。

(施工状況写真のみ撮影について定められている場合は適宜とする。)

注2 施工状況写真の軽減について

施工状況写真は工事目的物の築造に必要な作業の実施を証明するものである。

しかし、「工事目的物」の「名称」(ツリー図レベル4)は同じで「規格」(ツリー図レベル5)のみが違う工事目的物を施工する場合、実施する作業には大きな違いがないため、同様の施工状況写真が重複してしまう。

そこで、出来形管理写真に比べて施工状況写真では撮影箇所の軽減を行い、「工事目的物」の「規格」ごとではなく、基本的には「名称」が同じ工事目的物を代表して写真を提出することとしている。

(4) 枚数と撮影項目

提出枚数は施工段階ごとに1枚以上とする。

撮影内容は「(3)出来形管理写真・施工状況写真撮影箇所一覧」に示す「撮影項目」に作業が定めてある場合必ずその作業状況を含めること。

(「(3)出来形管理写真・施工状況写真撮影箇所一覧」の「施工状況」に定めのない場合、撮影項目は適宜とする。)

エ 着工前及び完成写真(工事目的物ごと)、出来形管理写真、施工状況写真の撮影箇所と撮影項目の決定例

(7) 現場条件

一つの工事現場で次のとおり施工する場合

①縦格子柵工／TF-90S(PC基礎)：30m

②縦格子柵工／TF-120W(布基礎)：70m

○写真撮影箇所一覧表(例)

レベル4 目的物・名称	種別	撮影項目	撮影頻度	備考
縦格子柵工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※コンクリート構造物・ 基礎については別途
	出来形	高さ	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所	

(4) 写真撮影箇所の決定

・出来形管理写真撮影箇所数の決定

①縦格子柵工／TF-90S → 1箇所(撮影箇所：A)

②縦格子柵工／TF-120W → 2箇所(撮影箇所：B、C)

・施工状況写真撮影箇所の決定

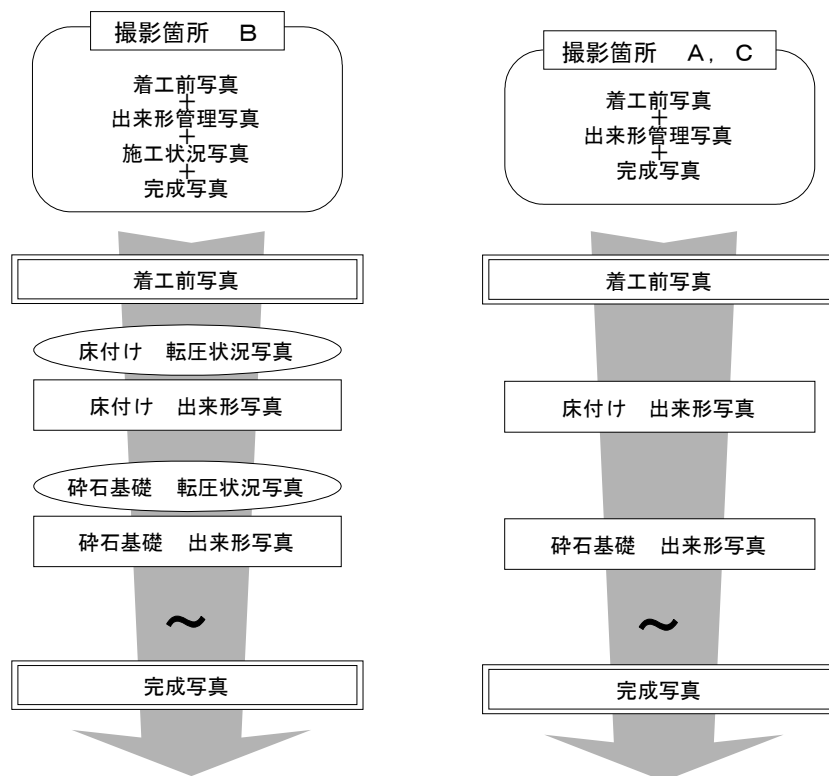
施工状況写真の撮影箇所：基礎築造にかかる作業の多い規格を選択する

→縦格子柵工／TF-120W(仮に撮影箇所B)

(7) 各撮影箇所での撮影する工事写真

撮影箇所B : 出来形管理写真+施工状況写真

撮影箇所A、C : 出来形管理写真



才 材料検査写真・品質管理写真・安全管理写真・その他写真について

「(4) 材料検査写真・品質管理写真・安全管理写真・その他写真の撮影箇所一覧表」
参照

(3) 出来形管理写真・施工状況写真撮影箇所一覧

- 各工事目的物の出来形管理写真、施工状況写真について、次ページ以降に記載する。

● 共通項目

複数の工事目的物に繰り返しでてくる施工段階の出来形管理写真、施工状況写真の撮影項目については撮影箇所一覧表の備考欄に「※基礎・コンクリート構造物・路盤等別途」と明記した上で省略し、下記にまとめた。

撮影頻度は、工事目的物本体の撮影頻度による。

① 出来形管理写真

NO	施工段階	撮影項目
1	砕石・栗石基礎	幅、厚さ
2	小型コンクリート基礎 ^(注1)	幅、高さ、本体構造物の根入れ長
3	石積み、 ブロック積み等の基礎	基準高、幅、厚さ、延長
4	路盤	基準高、厚さ、幅

② 施行状況写真

[]内は状況に応じて撮影する項目

NO	施工段階	撮影項目
1	現場打ちコンクリート構造物	コンクリート打設状況、コンクリート締固め状況、養生状況、[目地設置状況][有筋の場合は次についても撮影する:鉄筋の被り、鉄筋組立状況]
2	砕石基礎・路盤	床付け・路床転圧状況、砕石転圧状況
3	塗装	各塗装段階における作業状況

公園緑地工事写真 工種別撮影箇所一覧表

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考	
1	2	3	4					
基盤整備工	施設撤去工	構造物取壊し工	舗装版切断工	施工状況		施工箇所ごとに1箇所	監督員と事前の協議の上適宜、簡略化できる。	
			舗装版取壊し工					
			構造物取壊し工					
	石積取壊し工							
			**撤去工		施工状況		撤去する施設のうち代表的な施設のみ	監督員と事前の協議の上適宜、簡略化できる。
			**移設工		—			移設にともなう撤去については施設撤去工に準ずる。 移設にともなう設置については各施設の設置工に準ずる。
	伐採・伐開工		伐採工	施工状況		代表的な1箇所	監督員と事前の協議の上適宜、簡略化できる。	
			抜根工	出来形		代表的な1箇所		
			伐開工					
	発生材処理工		積込工	施工状況	仮置、積込状況	運搬車両5台に1回		
			運搬工	施工状況	発生材積載状況	同上		
					処分先、積み卸し状況	処分先ごとに1箇所		
			木チップ加工工	施工状況	仮置場、作業状況	仮置場、作業箇所ごとに1箇所		
			処分費		—			
敷地造成工	表土保全工	掘削積込工	施工状況		代表的な1箇所			
			出来形	基準高、幅	40mに1箇所または1000㎡に1箇所			
		掘削工						
		積込工	施工状況		代表的な1箇所			
		運搬工						
	掘削工	掘削押土工	施工状況	[浮石除去、湧水処理、土質等の変化]	代表的な1箇所			
			出来形	基準高、幅、法長	40mに1箇所または1000㎡に1箇所			
		掘削積込工	施工状況		代表的な1箇所			
出来形								
	積込工	施工状況		代表的な1箇所				
	運搬工							

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮 影 項 目	撮 影 頻 度	備 考	
1	2	3	4					
基 盤 整 備 工	敷 地 造 成 工	盛 土 工	敷均し締固め工	施工状況	1層毎の締固め厚さ、 締固め状況	代表的な1箇所		
			敷均し工 締固め工	出来形	基準高、幅、法長	40mに1箇所または 1000㎡に1箇所		
				積込工 運搬工	施工状況		代表的な1箇所	
		作 業 土 工	床掘工	施工状況	[浮石除去、湧水処理、 土質等の変化]	築造する工事目的物の 撮影頻度に準ずる		
			埋戻工	施工状況	1層毎の締固め状況 基礎まわり転圧	同上		
			作業残土積込工 作業残土運搬工	施工状況	仮置、積込状況	代表的な1箇所		
		法 面 整 形 工	掘削法面整形工	施工状況		代表的な1箇所		
			盛土法面整形工	出来形	法長	40mに1箇所または 1000㎡に1箇所		
		地 盤 改 良 工	安定処理工 石灰混合処理工	施工状況	不良箇所状況、1層毎の 安定処理厚さ判読可能な もの、各層について撮影	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所または 1000㎡に1箇所		
			出来形	基準高、幅、厚さ	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所または 1000㎡に1箇所			
	発 生 土 場 外 処 理 工	発生土積込工	施工状況	仮置、積込状況	運搬車輛5台に1回			
		発生土運搬工	施工状況	発生土積載状況	同上			
					処分先、積み卸し状況	処分先ごとに1箇所		
	法 面 工	法 面 ネ ット 工	法面ネット工	施工状況	アンカー据付状況	それぞれの規格ごとに 1箇所		
			出来形	法長	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所			
	法 枠 工	現 場 吹 付 法 枠 工	施工状況	アンカー据付状況、法面 清掃、吹付状況	全ての規格のうち 代表的な1箇所	※コンクリート構造 物の撮影については 共通項目参照		
			出来形	法長	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所			
				[裏込厚]、幅、高さ 吹付枠中心間隔、[配筋 間隔] 金網の重ね、吹付 厚	それぞれの規格ごとに 法枠延長100mに1ヶ所			
		現 場 打 法 枠 工	施工状況	法面清掃	全ての規格のうち 代表的な1箇所	※コンクリート構造 物の撮影については 共通項目参照		
出来形	法長		それぞれの規格ごとに 40mに1箇所					
	[裏込厚]、幅、高さ 法枠中心間隔、[配筋間 隔]		それぞれの規格ごとに 法枠延長100mに1ヶ所					

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮 影 項 目	撮 影 頻 度	備 考		
1	2	3	4						
基 盤 整 備 工	法 面 工	法 枠 工	プレキャスト法 枠工	施工状況	法面清掃 [アンカー据付状況]	全ての規格のうち 代表的な1箇所	※コンクリート構造 物の撮影については 共通項目参照		
			金属製法枠工	出来形	法長	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所			
				編 柵 工	編柵工	同上			
				植 生 工	種子吹付工	施工状況	法面清掃、網設置状況、 吹付施工状況、発芽状況 [アンカー据付状況]	全ての規格のうち 代表的な1箇所	
			出来形			法長	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所		
					客土吹付工 厚層基材吹付工	施工状況	法面清掃、網設置状況、 吹付施工状況 [アンカー据付状況]	全ての規格のうち 代表的な1箇所	
						出来形	法長、吹付厚	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所	
				植 生 ネ ット 工	植生ネット工	施工状況	法面清掃	全ての規格のうち 代表的な1箇所	
						出来形	法長	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所	
						張芝工	施工状況	目土散布転圧状況	全ての規格のうち 代表的な1箇所
						出来形	法長、目土厚	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所	
				筋 芝 工 種 子 帯 工 人 工 張 芝 工 植 生 土 の う 工	筋芝工 種子帯工 人工張芝工	施工状況	法面締固め状況	全ての規格のうち 代表的な1箇所	
						出来形	法長	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所	
						植生土のう工	出来形	法長	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所
			擁 壁 工	現 場 打 擁 壁 工	重力式擁壁工	施工状況	水抜き管、目地設置状況	全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照
					もたれ式擁壁工	出来形	裏込厚	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所	
	逆T型擁壁工				基準高、幅、高さ	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所 ただし、基準高、高さは 断面の変化点について 全数量			
	L型擁壁工								
	逆L型擁壁工 U型擁壁工								

基盤整備工(3/4)

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考	
1	2	3	4					
基盤整備工	擁壁工	現場打擁壁工	控壁式擁壁工	施工状況	水抜き管、目地設置状況	全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照	
				出来形	裏込厚	それぞれの規格ごとに40mに1箇所		
					基準高、幅、厚さ、高さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所 ただし、基準高、高さは断面の変化点について全数量		
		プレキャスト擁壁工	プレキャストL型擁壁工	施工状況	水抜き管、目地設置状況	全ての規格のうち代表的な1箇所		※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照
				出来形	裏込厚、基準高	それぞれの規格ごとに40mに1箇所		
			プレキャスト逆T型擁壁工					
	コンクリートブロック工	コンクリートブロック積工 コンクリートブロック張工	施工状況	水抜き管、吸い出し防止剤、目地設置状況	全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照 ブロック据付の施工段階は根石部、中段部、天端部の3段階に分ける。		
			出来形	厚さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所			
				基準高、法長	断面の変化点			
		緑化ブロック積工	同上					
	石積工 石張工	同上						
カルバート工	現場打カルバート工	現場打カルバート工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照		
			出来形	基準高、幅、厚さ、高さ	それぞれの規格ごと40mに1回			
	プレキャストカルバート工	プレキャストカルバート工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照		
			出来形	基準高	それぞれの規格ごと40mに1回			
仮設工			全工種共通を参照					

[]内は状況に応じて撮影する項目

※1：土壤改良材・肥料等を使用する場合は、材料の納品状況と使用（空体）状況を各現場ごとにまとめて撮影し、提出すること

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考	
1	2	3	4					
植 栽 工	植 栽 基 盤 工	土 壤 改 良 工 (※1)	土 壤 改 良 工 (植栽を伴わない場合※2)	施工状況	土壤改良材攪拌状況	土壤改良エリアごとに1箇所	※2：土壤改良する範囲が標準図集の植穴寸法によらない場合（地被植栽エリア全域の改良など）	
				出来形	基準高、幅、厚さ	土壤改良エリアごと40mに1箇所または1000㎡に1箇所		
			客土工 (植栽を伴わない場合※2)	施工状況		客土エリアごとに1箇所		
			施肥工	施工状況	肥料攪拌状況	施肥エリアごとに1箇所		
	人 工 地 盤 工	人 工 地 盤 工	人工地盤排水層工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所		
			人工地盤盛土工	出来形	深さ	それぞれの規格ごと40mに1箇所または1000㎡に1箇所		
	透 水 層 工	透 水 層 工	暗渠排水工 植穴透水管工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所		
				出来形	深さ、幅	それぞれの規格ごと40mに1箇所		
	植 栽 工	高 木 植 栽 工 (※1※3)			施工状況	[土壤改良材攪拌状況]	樹種にかかわらず、幹周ごと※4に1箇所	※3：高・中低木植栽工の施工状況・出来形管理写真についてはツリー図によらず、樹木植栽の施工手順にしたがって写真を提出する。 ※4：例) C30、C60、C90について(施工状況・出来形写真を)それぞれ1箇所
					出来形	植穴寸法	樹種にかかわらず、幹周ごと※4に1箇所	
中 低 木 植 栽 工 (※1※3)				施工状況	[土壤改良材攪拌状況]	樹種にかかわらず、樹高ごと※4に1箇所	ただし、着工前及び完成写真(工事目的物ごと)〈支柱込み〉、材料検査写真は全ての樹種・規格ごとに提出する。 ※5：特殊な支柱を設置する場合は監督員と協議のこと。	
				出来形	植穴寸法	樹種にかかわらず、樹高ごと※4に1箇所		
地 被 植 栽 工		苗 木 植 栽 工	播 種 工					あわせて土壤改良を行う場合は「土壤改良工」に準ずる。 地被・苗木植栽、播種工については出来形写真、施工状況写真の提出は必要としない。 (植物材料ごとに着工前写真、材料検査写真、完成写真のみの提出)
根 囲 い 保 護 工		根 囲 い 保 護 工		根囲い保護工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	
				出来形	高さ	それぞれの規格ごと3箇所に1箇所		

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考
1	2	3	4				
植 栽 工	植 栽 工	樹 名 板 工	樹名板工	根囲い保護工と同じ			
		樹 木 養 生 工	防 風 ネ ット 工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	
				出来形	高さ、長さ	それぞれの規格ごと 3箇所に1箇所	
		寒 冷 紗 巻 き 工 マ ル チ ン グ 工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所		
	移 植 工		高 木 移 植 工	根回し工 掘取工 樹木運搬工	施工状況		樹種・規格ごとに 1箇所
	客 土 材 、 土 壌 改 良 材 植 栽 工 支 柱 工	—	高木移植工にともな う植栽作業につい ての写真は高木植栽工 に準ずる				
		中 低 木 移 植 工	根回し工 掘取工 樹木運搬工	施工状況		樹種・規格ごとに 1箇所	
	客 土 材 、 土 壌 改 良 材 植 栽 工 支 柱 工	—	中低木移植工にとも なう植栽作業につい ての写真は中低木植 栽工に準ずる				
		根 囲 い 保 護 工	根 囲 い 保 護 工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	
	出来形			高さ	それぞれの規格ごと 3箇所に1箇所		
樹 名 板 工	樹名板工	同上					
樹 木 養 生 工	防 風 ネ ット 工 寒 冷 紗 巻 き 工 マ ル チ ン グ 工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所			
		出来形	高さ、長さ	それぞれの規格ごと 3箇所に1箇所			
樹 木 整 姿 工	剪 定 ・ 刈 込 工	高木剪定工	施工状況		幹周ごとに1箇所		
		中低木剪定工 刈込工	施工状況		樹高ごとに1箇所		
	発 生 材 処 理 工	運搬工	施工状況	発生材積載状況	運搬車両5台に1回		
				処分先、積み卸し状況	処分先ごとに1箇所		
処 分 費	—						
仮 設 工			全工種共通を参照				

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

※1：土壤改良材・肥料等を使用する場合は、材料の納品状況と使用（空体）状況を各路線ごとにまとめて撮影し、提出すること

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考	
1	2	3	4					
街路植栽工	* * 線植栽工	土 壤 改 良 工 〔※1〕	土 壤 改 良 工 〔植栽を伴わない場合※2〕	施工状況	土壤改良材攪拌状況	路線延長40mに1箇所 または1000㎡に1箇所	※2：土壤改良する範囲が標準図集の植穴寸法によらない場合（地被植栽エリア全域の改良など）	
				出来形	基準高、幅、厚さ	路線延長40mに1箇所 または1000㎡に1箇所		
			客土工 〔植栽を伴わない場合※2〕	施工状況		路線延長40mに1箇所 または1000㎡に1箇所		
			施肥工	施工状況	肥料攪拌状況	路線延長40mに1箇所 または1000㎡に1箇所		
		高木植栽工〔※1※3〕		施工状況	〔土壤改良材攪拌状況〕	樹種にかかわらず、幹周ごと※4に1箇所	※3：高・中低木植栽工の施工状況・出来形管理写真についてはツリー図によらず、樹木植栽の施工手順にしたがって写真を提出する。	
			出来形	植穴寸法	樹種にかかわらず、幹周ごと※4に1箇所			
		中低木植栽工〔※1※3〕		施工状況	〔土壤改良材攪拌状況〕	樹種にかかわらず、樹高ごと※4に1箇所	※4：例）C30、C60、C90について（施工状況・出来形写真を）それぞれ1箇所 ただし、着工前及び完成写真（工事目的物ごと）（支柱込み）、材料検査写真は全ての樹種・規格ごとに1箇所提出とする。 また、単一樹種による街路植栽の場合、着工前写真と完成写真（工事目的物ごと）の撮影頻度は路線延長40mに1箇所とする。	
			出来形	植穴寸法	樹種にかかわらず、樹高ごと※4に1箇所			
		地被植栽工		—				※5：特殊な支柱を設置する場合は監督員と協議のこと。 あわせて土壤改良を行う場合は「土壤改良工」に準ずる。 地被植栽工については出来形写真、施工状況写真の提出は必要としない。 （植物材料ごとに着工前写真、材料検査写真、完成写真のみの提出）

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考
1	2	3	4				
設備工	給水設備工	給水管路工	給水管工	施工状況	防食テープ、ポリエチレンスリーブ施工状況	全ての規格のうち代表的な1箇所	
				出来形	深さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所	
		埋設シート工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所		
			出来形	深さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所		
		埋設標工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所		
		水栓類取付工	分水サドル取り出し工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照
	メーターきょう工						
	メーター廻り配管工						
	メーター工						
	散水設備工	止水栓きょう工					
		止水栓工					
	散水設備工	散水栓ボックス工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照	
散水栓工							
		スプリンクラー工	施工状況		それぞれの規格ごとに1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照	
		貯水槽工	設備類については「横浜市建築局監修 機械設備工事施工マニュアル（神奈川県空調衛生工業会）」を参照				
		循環装置工	同上				
雨水排水設備工	側溝工	L型側溝工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照	
			出来形	基準高、幅、厚さ	それぞれの規格ごとに80mに1箇所		
	U型側溝工 皿形側溝工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照		
		出来形	基準高、幅、厚さ、高さ	それぞれの規格ごとに80mに1箇所			
	現場打水路工 自由勾配側溝工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照		
		出来形	基準高、幅、厚さ、高さ	それぞれの規格ごとに80mに1箇所			
	コルゲートフリーウム工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照		
		出来形	基準高（管底）	人孔ごとに1回			
			幅、高さ	それぞれの規格ごとに80mに1箇所			
	側溝蓋工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所			

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考
1	2	3	4				
設備工	雨水排水設備工	管渠工	硬質塩化ビニル管工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	
				出来形	基準高（管底）	人孔ごとに1回	
					幅、高さ	それぞれの規格ごとに80mに1箇所	
		ヒューム管工 陶管工 プレキャストボックス工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照	
			出来形	基準高（管底）	人孔ごとに1回		
				幅、高さ	それぞれの規格ごとに80mに1箇所		
		集水樹・マンホール工	U型側溝雨水樹工 L型側溝雨水樹工 横断溝雨水樹工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照
				出来形	基準高、幅、厚さ、高さ	それぞれの規格ごとに5箇所につき1箇所	
			1種雨水樹工 2種雨水樹工 組立てマンホール工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照
				出来形	基準高、幅、厚さ、高さ	それぞれの規格ごとに5箇所につき1箇所	
	現場打ちマンホール工		施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照	
			出来形	基準高、幅、厚さ、高さ	それぞれの規格ごとに3箇所につき1箇所		
	地下排水工	有孔硬質塩化ビニル管工 有孔ヒューム管工 透水コンクリート管工 化学繊維系管工	施工状況	敷設全景	適宜		
			出来形	基準高（管底）	人孔ごとに1回		
				幅、高さ	それぞれの規格ごとに80mに1箇所		
	雨水浸透設備工	浸透樹工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照	
			出来形	基準高、幅、厚さ、高さ	それぞれの規格ごとに5箇所につき1箇所		
		浸潤トレンチ工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照	
			出来形	基準高（管底） 幅、厚さ、高さ	人孔ごとに1回 80mに1箇所		
	汚水排水設備工	管渠工	硬質塩化ビニール管工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	
出来形				基準高（管底）	人孔ごとに1回		
				幅、高さ	それぞれの規格ごとに80mに1箇所		

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮 影 項 目	撮 影 頻 度	備 考
1	2	3	4				
設 備 工	汚 水 排 水 設 備 工	管 渠 工	ヒューム管工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照
			P C管工	出来形	基準高（管底）	人孔ごとに1回	
			陶管工 副管工		幅、高さ	それぞれの規格ごとに 80mに1箇所	
		汚 水 柵 ・ マ ン ホ ール 工	1種汚水柵工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照
			2種汚水柵工 組立てマンホール工	出来形	基準高、幅、厚さ、高さ	それぞれの規格ごとに 5箇所につき1箇所	
			現場打ちマンホ ール工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照
		出来形	基準高、幅、厚さ、高さ	それぞれの規格ごとに 3箇所につき1箇所			
	電 気 設 備 工	受 変 電 設 備 工	引込柱工	施工状況	建込み、支線の設置	全ての規格のうち 代表的な1箇所	
			分電盤工	施工状況	埋込盤の鉄筋補強、仮枠	全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照
			キュービクル工	施工状況	搬入、据付状況	全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照
		電 線 管 路 工	電線管工	施工状況		全ての規格のうち代表 的な1箇所	
			ケーブル工	施工状況	管路内収容状況、金具接 続、耐熱、耐火状況	全ての規格のうち 代表的な1箇所	
ハンドホール工			施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照	
埋設シート工 埋設標工			施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所		
照 明 設 備 工		照明灯工	施工状況	灯具取付、ポール塗装状 況	全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照	
		放 送 設 備 工	スピーカー工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照
仮 設 工				全工種共通を参照			

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考
1	2	3	4				
園路広場整備工	舗装工	舗装準備工	路床改良工	施工状況	改良材混入、転圧状況	それぞれの規格ごとに代表的な1箇所	
				出来形	基準高、幅、厚さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所または1000㎡に1箇所	
			不陸整生工	施工状況	整正状況	代表的な1箇所	
				出来形	基準高、幅	40mに1箇所または1000㎡に1箇所	
			路盤工 (路盤のみ施工の場合)	施工状況	転圧状況	全ての規格のうち代表的な1箇所	
				出来形	基準高、幅、厚さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所または1000㎡に1箇所	
		土系舗装工	ダスト舗装工	施工状況	転圧状況	代表的な1箇所	
				出来形	幅、厚さ	40mに1箇所または1000㎡に1箇所	
			土舗装工	施工状況	転圧状況	全ての規格のうち代表的な1箇所	
				出来形	幅、厚さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所または1000㎡に1箇所	
		木系舗装工	木チップ舗装工	施工状況	[転圧状況]	全ての規格のうち代表的な1箇所	
				出来形	幅、厚さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所または1000㎡に1箇所	
	木道工		施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照	
			出来形	基準高、幅、厚さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所または1000㎡に1箇所		
	アスファルト系舗装工	アスファルト舗装工 半たわみ性舗装工	施工状況	プライムコート タックコート、転圧状況	全ての規格のうち代表的な1箇所	※路盤の撮影については共通項目参照	
			出来形	幅、厚さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所または1000㎡に1箇所		
		排水性舗装工 アスカーブ工	出来形	幅、厚さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所または1000㎡に1箇所		
			出来形	幅、厚さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所または1000㎡に1箇所		
	コンクリート系舗装工	コンクリート舗装工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※コンクリート構造物・路盤の撮影については共通項目参照	
			出来形	幅、厚さ [金網寸法、位置]	それぞれの規格ごとに40mに1箇所または1000㎡に1箇所		
			出来形	[金網の重なり]	全ての規格のうち代表的な1箇所		

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮 影 項 目	撮 影 頻 度	備 考	
1	2	3	4					
園路広場整備工	舗装工	コンクリート系舗装工	洗出し舗装工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※コンクリート構造 物・路盤の撮影につい ては共通項目参照	
				出来形	幅、厚さ	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所または 1000㎡に1箇所		
			コンクリート平 板舗装工 擬石平板舗装工 インターロッキ ング舗装工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※コンクリート構造 物・路盤の撮影につい ては共通項目参照	
				出来形	幅、厚さ	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所または 1000㎡に1箇所		
		樹脂系舗装工	樹脂系舗装工	同上				
				レンガ舗装工 タイル舗装工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※コンクリート構造 物・路盤の撮影につい ては共通項目参照
					出来形	幅、厚さ	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所または 1000㎡に1箇所	
		石材系舗装工	砂利舗装工	同上				
				砕石舗装工	施工状況	転圧状況	全ての規格のうち 代表的な1箇所	※路盤の撮影につい ては共通項目参照
			出来形		幅、厚さ	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所または 1000㎡に1箇所		
	自然石舗装工 飛石工 延段工		施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※路盤の撮影につい ては共通項目参照		
			出来形	幅、厚さ	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所または 1000㎡に1箇所			
	視覚障害者誘導用舗装工	視覚障害者誘導用舗装工	同上					
			区画線工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所		
				出来形	幅	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所		
	区画線消去工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所				

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考		
1	2	3	4						
園路広場整備工	縁石工	コンクリート系縁石工	地先境界ブロック工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照		
				出来形	基準高、幅、厚さ	それぞれの規格ごとに80mに1箇所			
			擬石縁石工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照		
				出来形	基準高、幅、厚さ	それぞれの規格ごとに80mに1箇所			
		レンガ系縁石工	同上						
		石材系縁石工	同上						
	階段工		コンクリート階段工 コンクリートブロック階段工 擬石階段工 自然石階段工 丸太階段工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照		
				出来形	基準高、幅、厚さ、高さ	それぞれの規格ごとに3箇所に1箇所			
橋工		八橋工 木橋工 石橋工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照			
			出来形	基準高、幅、高さ、延長	それぞれの規格ごとに3箇所に1箇所				
デッキ工		デッキ工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※基礎・コンクリート構造物の撮影については共通項目参照			
			出来形	基準高、幅、高さ	それぞれの規格ごとに3箇所に1箇所				
仮設工			全工種共通を参照						

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考		
1	2	3	4						
施設整備工	修景施設整備工	石工	石組工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所			
			景石工						
			捨石工						
			添景物工		同上				
		袖垣・垣根工			施工状況	出来形	高さ、幅	全ての規格のうち 代表的な1箇所	
								それぞれの規格ごとに 40mに1箇所	
		トレリス工			施工状況	出来形	高さ、幅	全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照
								それぞれの規格ごとに 40mに1箇所	
		モニュメント工			施工状況			全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照
		池工			施工状況	出来形	防水対策状況 工法により別途定める	それぞれの規格ごとに 1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照
								それぞれの規格ごとに 3箇所につき1箇所	
		流れ工			同上				
		滝工			同上				
		壁泉工			同上				
遊戯施設整備工	現場打遊具工	プレイウォール工	施工状況			それぞれの規格ごとに 1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照		
		石の山工	施工状況	トリカルネット布設		それぞれの規格ごとに 1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照		
	遊具組立設置工	ブランコ工	出来形	高さ			全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照	
		すべり台工							
		ジャングルジム工							
シーソー工					それぞれの規格ごとに 3箇所につき1箇所				
鉄棒工									
スプリング遊具工									
複合遊具工									

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考	
1	2	3	4					
施設整備工	サービス施設整備工	ベンチ・テーブル工	ベンチ工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照	
			スツール工 テーブル工	出来形	高さ	それぞれの規格ごとに 3箇所につき1箇所		
		水飲み工	水飲み工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照	
				出来形	高さ	それぞれの規格ごとに 3箇所につき1箇所		
		洗い場工	手洗い場工	同上				
			足洗い場工	同上				
		サイン工	掲示板工	同上				
			標識工	同上				
			案内板工 制札板工	同上				
		野外炉工	野外炉工	同上				
時計台工	時計台工	同上						
管理施設整備工	柵・門扉工	縦格子柵工	縦格子柵工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照	
			パイプ柵工	出来形	高さ	それぞれの規格ごとに 40mに1箇所		
		金網柵工						
		ロープ柵工						
		丸太柵工						
		擬木柵工						
		手すり工						
	門工 扉工	門工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照		
		扉工	出来形	高さ	それぞれの規格ごとに 3箇所につき1箇所			
	門柱工	門柱工	同上					
車止め工	車止め工 吸殻入れ工	同上						

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考	
1	2	3	4					
施設整備工	建築施設組立設置工	四阿工	四阿工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照	
			出来形	基準高	それぞれの規格ごとに 3箇所に1箇所			
		パーゴラ工	同上					
		シェルター工	同上					
		便所工	設備類については「横浜市建築局監修 機械設備工事施工マニュアル（神奈川県 空調衛生工業会）」を参照					
		倉庫工	倉庫工	施工状況		全ての規格のうち 代表的な1箇所	※基礎・コンクリート 構造物の撮影につい ては共通項目参照	
			出来形	基準高	それぞれの規格ごとに 3箇所に1箇所			
自転車置場工	自転車置場工	同上						
仮設工	全工種共通を参照							
施設改良工	改修工	施設改修工	**改修工	施工状況		そのほか、撮影項目、撮影頻度については監 督員と協議のこと		
			施設塗替工	**塗替工	施工状況			塗装回数毎の塗装状況
		補修工	**補修工	施工状況				
		浚渫工	浚渫工 浚渫土砂脱水処理工	同上				
	仮設工	全工種共通を参照						

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考
1	2	3	4				
グラウンド・コート整備工	グラウンド・コート舗装工	舗装準備工	路床改良工	施工状況	改良材混入、転圧状況	それぞれの規格ごとに代表的な1箇所	
				出来形	基準高、幅、厚さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所または1000㎡に1箇所	
			不陸整生工	施工状況	整正状況	代表的な1箇所	
				出来形	基準高、幅、厚さ	40mに1箇所または1000㎡に1箇所	
		舗装工	ダスト舗装工	施工状況	敷均し、転圧状況	代表的な1箇所	
				出来形	幅、厚さ	40mに1箇所または1000㎡に1箇所	
			アンツーカー舗装工	施工状況	敷均し、転圧状況	全ての規格のうち代表的な1箇所	
				出来形	幅、厚さ	それぞれの規格ごとに40mに1箇所または1000㎡に1箇所	
		芝舗装工	施工状況	目土散布状況	全ての規格のうち代表的な1箇所		
				材料の使用量	それぞれの規格ごと		
			出来形	目土厚	それぞれの規格ごとに40mに1箇所または1000㎡に1箇所		
		人工芝舗装工 全天候型舗装工	施工状況	材料の使用量	それぞれの規格ごと		
	縁石工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※コンクリート構造物・路盤の撮影については共通項目参照		
		出来形	基準高、幅、厚さ	それぞれの規格ごとに80mに1箇所			
	グラウンド・コート施設整備工	スコアボード工	施工状況		全ての規格のうち代表的な1箇所	※コンクリート構造物・路盤の撮影については共通項目参照	
			出来形	基準高、幅、厚さ、高さ	それぞれの規格ごとに3箇所に1箇所		
	バックネット工		同上				
仮設工			全工種共通を参照				

〔 〕内は状況に応じて撮影する項目

ツリー図レベル				種 別	撮影項目	撮影頻度	備考
1	2	3	4				
全工種共通	仮設工	工 事 用 道 路 工		別途、監督員の指示による			
		路 面 覆 工		同上			
		土 留 ・ 仮 締 切 工		施工状況	矢板等打ち込み状況	それぞれの規格ごと	
				出来形	基準高、位置	それぞれの規格ごと	
		水 替 工		別途、監督員の指示による			
		土 の う 工		同上			
		か ご 工		同上			
		土 木 シ ー ト 工		同上			
		仮 水 路 工		同上			
		防 護 施 設 工		同上			

(4) 材料検査写真・品質管理写真・安全管理写真・その他写真の撮影箇所一覧表

ア 材料検査写真

契約図書、又は監督員が指定する資材について提出すること。

[] 内は状況に応じて撮影する項目

工種	撮影項目	撮影時期
材料検査	形状寸法、納入数量 [品質規格表示]	施工前及び 検査時
	[工場製作品製作状況]	製作中
	[検査実施状況]	検査時

※ ただし、次については契約図書、又は監督人の指示がなくても必ず材料検査写真を提出すること。

樹木・草花・地被類：全ての種類・規格ごとの材料検査写真（形状寸法）

土壌改良材・肥料等：現場ごとの使用全量が確認できる写真（納品袋数・空袋数）

イ 品質管理写真

「公園緑地工事施工管理基準」の品質管理基準に従い試験を実施した場合は、その実施状況と結果についての写真を提出する。

（ただし、造園材料の品質試験については写真提出の必要はない。）

ウ 安全管理写真

工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
安全管理	各種標識類の設置状況	設置後	各状況ごとに1回
	各種保安施設の設置状況	設置後	各状況ごとに1回
	交通整理状況	作業中	各状況ごとに1回
	安全教育実施状況	実施中	各状況ごとに1回

エ その他写真

工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
環境対策・ 現場環境改善等	各施設設置状況又は実施 状況	設置後又は実 施状況	各種ごと1回
設計図書との 不一致	設計図書と現地との 不一致の写真	発生時	その都度
補償関係	被害又は損害状況	(発生前) (発生時) 発生後	その都度 () は可能な場合
災害写真	被害状況及び被災規模	(被災前) (被災中) 被災後	その都度 () は可能な場合

材料検査写真・品質管理写真他(1/1)

4 電子納品の場合

工事写真を「工事完成図書の電子納品に関する特記仕様書」に基づき納品する場合は次のとおりとする。

(1) フォルダ構成

フォルダ構成については、「デジタル写真管理情報基準」（以下「基準」という）に基づき、「PHOTO」フォルダを作成し、直下に写真管理ファイルと「PIC」（写真ファイルを格納するサブフォルダ）及び「DRA」（参考図ファイルを格納するサブフォルダ）を置く。

(2) 写真管理項目

写真管理ファイルに記入する写真管理項目については、「基準」に基づき作成する。

ただし、撮影工種区分の「工種」、「種別」、「細別」及び撮影情報の「撮影箇所」については、次表に示すとおりとする。

項目名		記入内容
写真情報	撮影工種区分	<p>「公園緑地工事工種体系ツリー図」（以下「ツリー図」という）のレベル2「種別」を記載する。 ただし、レベル0「事業種別」が複数設定されている場合は、下記のとおりとする。</p> <p>【レベル0が単一の場合】 レベル2「種別」のみを記載する。</p> <p>【レベル0が複数ある場合】 設計書のレベル0の一部とレベル2「種別」を組み合わせで記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> レベル0が国庫補助事業、市単独事業等とわかれている場合 …（「国」または「市」）＋（レベル2「種別」）を記載する。 【記載例】 国 遊戯施設整備工、市 擁壁工 レベル0が公園ごとにわかれている場合 …公園名＋（レベル2「種別」）を記載する。 【記載例】 横浜みなと公園 遊戯施設整備工、山下かもめ公園 法面工
	種別	<p>「ツリー図」のレベル3「細別」を記載する。 【記載例】 遊具組立設置工、石積工、法面工</p>
	細別	<p>「ツリー図」のレベル4「目的物/仮設物（名称）」を記載する。 【記載例】 ブランコ(児童用2連)、割石積工、現場吹付法砕工</p>
撮影情報	撮影箇所	<p>レベル4「目的物/仮設物」名称及び測点番号を記載する。 複数公園で同一の目的物/仮設物がある場合は、公園名を最初に記載する。 記載内容の間には、_（半角アンダーバー）を記入する。 【記載例】 横浜みなと公園_ブランコ(児童用2連) 山下かもめ公園_インターロッキングブロック舗装_No.1</p>

(3) ファイル形式、ファイル命名規則、写真編集等、有効画素数

ファイル形式、ファイル命名規則、写真編集等、有効画素数については、「基準」に基づくものとする。

(4) 撮影頻度と提出頻度の取り扱い

撮影頻度と提出頻度は同一とし、撮影頻度については、本基準に基づき行うものとする。

(注) 「基準」等の電子納品に関する基準類は、横浜市ウェブページを参照する。

5 写真帳納品の場合

工事写真を写真帳で納品する場合は次のとおりとする。

(1) 写真の色彩

写真はカラーとする。

(2) 写真の大きさ

写真の大きさは、サービスサイズ以上とする。
ただし、必要に応じてパノラマサイズとすることができる。

(3) 写真帳の大きさ

監督員と協議の上決定する。

(4) 写真帳の表紙

記入する事項は次のとおりとする。

表紙

工事写真 (の)				
工事名				
工事場所				
工期	自	令和	年	月 日
	至	令和	年	月 日
発注者				
請負人				

背表紙

令和	年度
請	工
負	事
人	名

(5) 写真の整理方法

ア 目次、案内図、撮影箇所図等を添付する。

イ 着工前及び完成後の写真は、同一位置、方向から対比できるように整理する。

ウ 施工状況、出来形管理者写真は工程ごとに整理し、工事過程が容易に把握できるようにする。

(6) 写真の整理保管

撮影した写真は、監督員が必要に応じて随時閲覧できるよう整理し保管しておくこと。

(7) 写真の説明

写真だけでは、状況説明が不十分と思われる場合には、余白に断面図、構造図、出来形図等を添付すること。

(8) 写真帳の提出部数

工事完成後に一部提出する。

ただし、監督員の指示があった場合には、その指示による。

(9) 添付の順序

- ア 案内図
 - イ 着工前及び完成写真（全景）
 - ウ 着工前写真（工事目的物ごと）
 - エ 施工状況写真
 - オ 出来形管理写真
 - カ 完成写真（工事目的物ごと）
 - キ 材料検査写真
 - ク 品質検査写真
 - ケ 安全管理写真
 - コ その他写真
- } ※

※着工前写真・施工状況写真・出来形管理写真・完成写真（工事目的物ごと）は撮影箇所毎に施工手順に沿って整理する。

植栽工については、樹種・規格ごとに植物材料の材料検査写真も含めて整理すること。